



心豊かでたくましく自ら学び続ける青木っ子

青木の風



令和8年7月13日 青木小学校だより NO.4

～児童の活動を中心とした日々の学校の様子は、学校ホームページに掲載しています～

好きを育み、得意を伸ばす夏休みに

来週から夏休みに入ります。子どもたちにとって、夏休みは普段の学校生活でなかなかできないことに挑戦したり、自分の興味や関心を深めたりできる貴重な時間です。

これからの社会は、ますます変化が激しくなり正解が一つではない時代となります。そのような時代には、教えられたことを覚える力だけでなく、

「なぜだろう」「もっと知りたい」「やってみたい」という思いを原動力に、自ら問いをもち、考え挑戦し、学び続ける力が求められます。でも、その力は特別なものではありません。子どもは本来、好奇心のかたまりです。虫を見付けば夢中で観察し、不思議なことがあれば何度も「どうして」と尋ねます。好きだから挑戦する、挑戦するから工夫する、工夫するからできるようになる、できるようになるから得意になる、得意になるからさらに学びたくなる…つまり、

「好き」はゴールではなく、学びの出発点なのです。子どもたちは、これから何十年にもわたって学び続ける人生を歩みます。だからこそ、小学校で育てたいのは、「やらされる学び」ではなく、「自ら学ぶ喜び」です。そのため、本校では夏休みを「自分で考え、自分で選び、自分で学ぶ時間」と位置付け、今年度も全員一律の宿題を課すことは控えます。決まった宿題があった方が安心と感じられることもあると思いますし、そのお気持ちは、お子さんの将来を願うからこそ受け止めています。一方で、これからの時代に必要とされるのは、与えられた課題に取り組む力だけでなく、自分で課題を見付け、自ら学び続ける力です。その力は、一朝一夕に身に付くものではなく、与えられた一律の課題をこなす経験だけでは育ちません。時間にゆとりがあり、興味や関心を大切にできる小学生の時期だからこそ、まとまった時間の取れる夏休みのような機会に少しずつ育んでいくことが大切だと考えています。

子どもたちが安心して夏休みを迎えられるよう、学びのヒントをまとめた「夏休みのしおり」（6月の懇談会時にお示した内容です）を配付します。また、一人一人が自分に合った学びの計画を立てられるよう、事前に準備の時間を設けています。

保護者の皆様には、「宿題がない夏休み」ではなく、「子どもが自ら学ぶ力を育てる夏休み」と受け止めていただければ幸いです。子どもたち一人一人の「好き」が育ち、「得意」が伸び、その先に「自ら学び続ける力」が育つ、そんな夏休みになることを願っています。

※2棟1階に自由研究のヒントやまとめ方の例などを掲示しています。



ヒントカードを参考にして考えています

